



ヒブ(Hib)ワクチンについて Q&A

Hib ワクチンは乳幼児の細菌性髄膜炎を予防するワクチンです！

Q Hib ワクチンって何ですか？

A ヘモフィルス属インフルエンザb 型菌のことを略してヒブ(Hib)といい、インフルエンザ菌b 型ワクチンのことです。

Q じゃ、冬流行するインフルエンザのワクチンなんですか？

A いいえ、実は、**インフルエンザとは全く関係がないんです**。この菌が発見されたとき、冬に流行するインフルエンザの原因菌と誤って考えられたので、インフルエンザ菌という名前がついてしまいました。

Q それではいったい何の病気に効くワクチンなんですか？

A **通常5歳以下の乳幼児がかかる細菌性髄膜炎を予防するワクチンです**。細菌性髄膜炎は、時に致命的で、助かって重い後遺症を残すことがあります。

Q 髄膜炎にかかる人はどのくらい？

A 日本では、年間600人も子どもがヒブによる髄膜炎にかかっていると推定されています。**鹿児島県では、年間10名程度の患者がいます**。

仮予約が必要なのは、病院への割り当て本数が限られているからです。

Q 接種希望でも、すぐにはできないんですか？

A アクトヒブ(Hib ワクチン)は、フランス国内で製造し、製造開始から出荷までに約20ヶ月を要し、そして日本国内での輸入後の品質検査にさらに5ヶ月かかります。また、現時点では、病院への割り当て本数が限られています。そのため、**仮予約を受けた方の情報から発注を出し、ワクチンが入荷するのは、メーカーからの返事を待って接種可能となりますので、ご了承ください**。

Q 副作用が心配なのですが…？

A しこり、発赤、発熱などがみられることがあります。これらの副作用は接種後24時間以内に発生し、通常そのまま2～3日後には改善します。

市で全額負担する、任意接種のワクチンです。

Q 負担してもらえなかったら、接種料はいくらですか？

A 医療機関によって異なりますが、一回7,000円位です。4回接種で3万円程度になります。



伊佐市では、全額負担(無料)です

ただし、対象年齢は生後3ヶ月から3歳未満で三種混合と同時接種のみ

3種混合ワクチンと同時に接種です。

Q 具体的な接種時期をおしえてください。1 ヶ月健診を終えたばかりなんですが……

A Hib ワクチンは、他のワクチンと同時に接種が認められた画期的なワクチンで、3種混合ワクチン(DPTワクチン)とHib ワクチンを別々の腕に接種します。接種スケジュールは、初回の接種を始めた年齢により異なり、年齢が大きくなるにつれて接種合計が変わります。下の表にあるように、**3ヶ月で三種混合ワクチン(DPTワクチン)と同時に接種してください。**

3ヶ月～7ヶ月未満で開始	3回+1回(おおむね1年後) 計4回
7ヶ月～1歳未満で開始	2回+1回(おおむね1年後) 計3回
1歳以上3歳未満まで	1回のみ 計1回

通常は4～8週間あけて3回皮下に注射します。追加接種は通常初回免疫後(初回接種後)、おおむね1年の間隔をおいて、1回皮下に注射します。

Q 先に他の予防接種を受けたんですが、Hib ワクチンはすぐ接種できますか？

A 生ワクチンの接種を受けた場合は、通常27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた場合は、通常6日以上間隔をおいて接種してください。わからないときは医療機関又は市健康増進課へご相談ください。

予約なしでは、受けられません。

Q Hibの予防接種を受けたいのですが、どういう流れですか？

A 1. まず、医療機関に予約をしてください。(三種混合と同時に予約)

ワクチンの量が、不足しているため、必ずしも全員が希望時期に接種できるとは限りません。

2. 医療機関がワクチンを予約する。
3. ワクチンが納品(入荷)される。
4. 予約した日に、医療機関にある『Hib予防接種予診票』を記入する。
5. 予診票を記入後、診察をしてワクチンを接種する。
6. 接種料金は**無料(市が負担します。)**

接種に必要なもの

母子手帳
三種混合予診票(Hibワクチンとの同時接種のため)
医療機関で記入したHib予防接種予診票

予約はコチラ
各医療機関へ
お電話を。



◆北薩病院 tel(22)8511 ◆寺田病院 tel(22)1321

問い合わせは、伊佐市役所 健康増進課 健康推進係 tel 23-1311(1217)まで